

開館七周年記念アートイベント
公開制作&ワークショップ

みんなの森の住人たち

メディコスに住んでる
つもりで生きものたち
のオブジェをつくって
みない？みんなの参加
を待ってるよ！

2022
7/16 (土) 10:00~20:00
アーティストによる公開制作

入場無料 どなたでもご自由に見学できます。

テーマは「みんなの森の住人」素材は「紙」。
岐阜在住のアーティストがみんなの森の住人を制作します。
各アーティストの作風の違いがどのように作品に表されるでしょうか。
参加アーティストについては裏面をご覧ください。

7/17 (日) ~ **18** (月祝) 10:00~15:00
みんなの森の住人をつくろう

一人ひとりの想い、自由な発想により段ボールなどの紙を使って生きもののオブジェを制作するワークショップです。2日間かけてじっくり制作し、完成した作品はみんなの森 ぎふメディアコスモス館内に展示します。

定 員：20組(先着)※1組(1~4名)で1作品制作しますが、小学生以下は保護者同伴

参加条件：年齢不問、7/17,18の両日に参加できる人

参加費：1組 1,000円

持ち物：家庭で出た紙製品の廃材（段ボールや空き箱等）

汚れても良い服装、筆記用具、はさみ

申し込み：ぎふメディアコスモス事業課（右のQRコードより）

会場 みんなの森 ぎふメディアコスモス 1F みんなのギャラリー

主催：岐阜市

<お問い合わせ・申し込み> ぎふメディアコスモス事業課 岐阜市司町40番地5 tel:058-265-4101



みんなの森の 住人たち

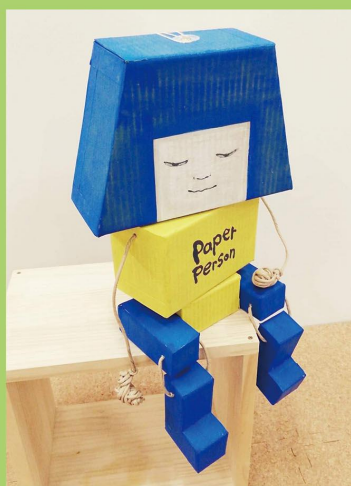
2022 7/16(土),17(日)~18(月祝)

参加者は2日間かけて段ボールや廃紙などの紙の素材を使って「生きもの」を制作します。完成した作品はメディアコスモス館内のあちこちに設置し、「みんなの森の住人」として暮らしてもらいます。7/16はアーティストによる等身大の住人オブジェの公開制作を行います。7/17,18は各アーティストがアドバイザーとなって参加者をサポートし、一緒に住人制作を行います。皆様のご参加をお待ちしています。

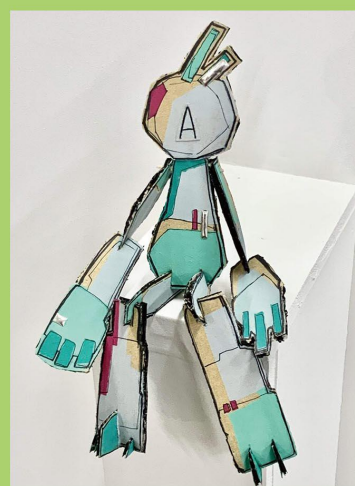
参加アーティスト



画家 新井真允子
色彩に重点を置いて制作をしている。「幼少期に触れた色が潜在的に好きで使いやすい」と聞いたことがある。岐阜生まれの私の色はきっと、岐阜の豊かな自然の中で育まれた感性によるものだと思う。



画家・美術活動家 加藤誉使子
柳ヶ瀬商店街にある現代美術ギャラリー「Lucca445」代表。アートイベント企画など美術に関わる様々な活動を、まちの中でまちづくりの一環として展開している。



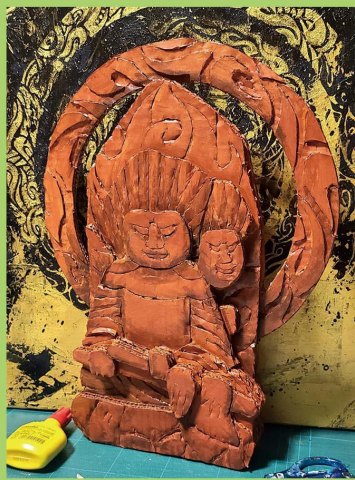
画家 早川文彩
シンプルな線と色、そして金属のはんだを用いて抽象的な作品を主に制作する。身の回りの出来事からスケッチを繰り返し余分な形を削ぎ落とし、残った形や線から心地よいバランスを拾い上げようとしている。

企画 中島法晃

岐阜女子大学文化創造学部講師
アートがシビックプライドの醸成にどのように関与していくかについて興味があります。メディコスが市民のアートで溢れる場所になりますように。



画家 渡辺悠太
幼少期より絵を描くことが好きだった。高校、大学と美術の専門学校、パリ留学や個展、グループ展、ワークショップなど様々な活動を通して自由な発想と感性のままに強く儚い生命のあり方をテーマに表現している。



ペインター Madblast Hiro
岐阜を拠点に活動。昨年は繊維問屋で高さ16mの壁画制作。大阪府阪南市で長さ230mの壁画を中学生の生徒と制作した。独自の模様をブロックのように積み上げる表現を使い具象と抽象の狭間の表現を突き詰める。